

はーと&はーと

東海市国際交流協会会報 (No. 171)



「東海フラワーショーから (デンドロビューム)」

地球の仲間たち

コロナ禍を越えた再会

副会長 桜井敏彦

昨年12月末、知り合いの中国人親子が来日し、セントレア空港で久々の再会が叶いました。彼らは以前名古屋明德短大（現星城大学）に留学していた学生のご主人と娘で、現在はそれぞれシドニーとメルボルンに住んでいます。運転免許の書き換えほかの手続きでやってきたのですが、コロナの心配もあってずっとホテル滞在をしていました。

2019年に私が最後にマセドンレンジズを訪問した時、協会ではおなじみの故ダイアナさんのファームを一緒に訪ねることができましたし、最初のホストファミリー宅まで案内してもらいました。

彼らとは留学生時代からもう20年以上の付き合いになりますが、今では親子のような関係です。大学卒業、大学院進学、院卒業、結婚、出産、子どもの成長といつも実の子どものように見守ってきました。メルボルン大学の医学部に通う長女は私たちの自慢の孫娘です。

私たちがこうした交流ができるのは国際交流協会のおかげです。会員になったことでこんなに素晴らしい交流をさせてもらっているからです。

しかし、彼らの留学時代には“外国人は髪の色、肌の色がちがいで日本語に訛りがある”イメージで、マスコミなどの扱いも違っていったようでした。インタビューなども日本人に似て流暢な日本語を話す留学生は余り相手にされず、出会った頃には日本人との交流さえ拒んでいたようでした。そのことを知った教員が私たちとの出会いを勧めてくれたのです。

私は自分の体験から、勉強したくても金銭的に余裕のない苦学生や学校に行きたくても行けない子どもたちの手助けをしたいと思い交流協会に参加しました。以前出会った留学生は皆苦勞していた感じがします。

彼らの何人かは私たちとの出会いをとっても感謝し、その後も連絡をとりあっています。私たちへの感謝の気持ちは次の世代の人たちを援助することで返して欲しいとお願いしていますが、具体的な活動報告を受けたときはとても嬉しく思いました。感謝は強制するものではないし、すぐすべきものでもありません。気付いた時、自然にできるのが理想だと考えています。

私たちは彼らとの出会いに感謝し、更なる交流を願っています



“Sorry, I mistook you for someone else”
「すみません、ほかの人と間違えてしまいました」

覚えておけばいつか役に立つかもしれません。

東海市国際交流協会は
会員が主役です

協会活動あれこれ I

◆国際理解講座

3年ぶりに開催しました。
国際理解講座と
新たに民族衣装を着た
等身大パネルを置いた
フォトストップは大好評
でした。

運営委員長 吉松くに子



◆国際理解講座

「ウクライナ紹介と避難民家族との交流」

令和4年6月26日に当行事を開催しました。
第一部では、東海市在住でウクライナ文化協会理事長のリュドミラさんから、映像を交えてウクライナの歴史・文化等の説明を受け、第2部では、東海市に避難されている2家族の方達から、日本へ到着時の印象・東海市での避難生活等を話して頂きました。

それらを通し、遠く離れた母国への思いと共に、ウクライナ国民である事の誇りも伝わりました。又、参加者一同が、平和でいられることの幸せを再認識できた時間を共有しました。

運営委員長 竹本 操



協会活動あれこれ II

◆ティフ事業

「第19回 スピーチフェスティバル」

東海市芸術劇場で小中学生が母国語以外の言語を使いオリジナルのスピーチやパフォーマンスを披露しました。



「ZOOMでたのしむ多文化交流」

初のオンラインによる多文化交流。子どもも大人も東海市に縁のある7ヶ国の外国人ゲストと交流し、各文化について楽しく学びました。海外からの参加もあり色々な質問が飛び交いました。

興味がある方は You Tube をご覧ください。 (QRコードから)



運営委員長 福田 奈穂恵

協会活動あれこれ Ⅲ

◆ボランティア研修会

令和4年12月20日、スマホ勉強会を開催しました。スマホは今や日常生活になくてはならないものとなっています。今回の勉強会では、Wi-Fi接続や環境など基本的なこと、お勧めの便利なアプリの使い方、仕事に役立つツール、多用されているQRコードなど学習しました。特に多くの人が利用しているLINEのアプリは、身近なコミュニケーションツールとして使い方やマナーに多数の質問がありました。これからも会員の希望を聞き、活動に役立つ研修会を開催したいと思います。



運営委員長 竹内 かずこ

◆交流バスハイク



“京都で一番人気の金閣寺”と御所のお庭を楽しみました。

運営委員長 喜多 二三江

協会活動あれこれ IV

◆日本語教室

「外国につながる子どもの学習支援」

今年度はオンライン教室と月2回の対面教室を開催しました。

運営委員長 笠松 千尋



「日本語教室」



コロナが少し落ち着いた頃から
日常が戻り対面での学習が再開
しています。

運営委員長 神田 茂子

◆市民・会員のつどい

「ウクライナの文化を楽しもう」

ウクライナの伝統的なお守り人形やウクライナ模様のエコバッグ、缶バッチなどのワークショップを行いました。テレビの取材も来ました。

運営委員長 堀 ゆき子



◆会報

4月から隔月で6回の発行をしてきました。 運営委員長 桜井 敏彦

東海市探訪

何故冬野菜の成長が早くなる？

知多特産の早生ふきは江戸時代に加木屋町で栽培されていたもので、当時から他の地区より早く成長するものでした。木田地区には年によって年末に出る筍があります。年の瀬の竹藪で頭を出しているのを見つけた時には夢を見ているようでした。この地域の住人にはこのことを知っている人もいます。また、ある農夫の話では市内のどこかに冬の野菜が他より早く育ってしまう畑があると聞いたことがあります。確かめたことはないのですが事実かどうかは分かりません。では、なぜこのようなことがあるのでしょうか？

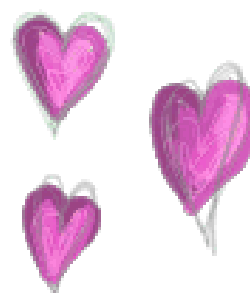
この地区では200mほどの井戸を掘ると温かい水が湧くことが知られています。私の勤めた会社の地下水は年中23℃で、もう1℃高ければ温泉に分類されます。今ではなくなってしまう玉の湯は温泉です。会社までの同線上に竹藪もあることから、地下の高温水が地温を高め植物の成長に影響していることも考えられます。興味のある方は調査してみるのもよいかも。（会報委員）



= INFORMATION =

はーと&はーと開催

日 時：令和5年2月19日（日） 10:00～15:00
場 所：東海市芸術劇場1階多目的ホール
皆さまのご協力をお願いします。



新年度の会報委員募集

令和5年度の会報委員を募集します。新規委員会を下記のとおり開催しますのでお集まりください。

日 時：令和5年2月27日（月） 13:30～
場 所：協会事務室

日本語教室

日 時：第1・第3日曜日 14:00～16:00
第2・第4月曜日 19:00～20:30 (オンライン授業)
場 所：東海市立商工センター3階中会議室他



子どもといっしょに日本語教室

日 時：第1・3木曜日 10:00～12:00
場 所：しあわせ村研修室他
(託児を希望される方は事前にご連絡ください)



フェイスブックQRコード

外国につながる子どもの学習支援教室

事前に事務室へお問い合わせください。
場所：東海市立商工センター3階中会議室他
外国から来た子どもに宿題や勉強を教えるボランティアを募集しています。
興味のある方は事務室にご連絡ください。

在住外国人生活相談

英語、中国語またはタガログ語による生活一般相談
随時電話にて受け付けます。（予約制）ご希望の方は事前にご連絡ください。
※上記事業の詳細は事務室またはホームページ、フェイスブックでご確認下さい。



お問い合わせ等は協会事務室まで
open 月～金曜日 9:00～16:00 (祝日はお休み)
協会事務室が留守の場合は市役所秘書課
TEL052-603-2211、0562-33-1111
ホームページ <http://www.medias.ne.jp/~tia/>
E-mail tia@ma.medias.ne.jp

発行日 令和5年2月1日
編 集 東海市国際交流協会会報運営委員会
発行者 東海市国際交流協会
〒 476-0013 東海市中央町四丁目2番地
TEL 0562-32-5339
FAX 0562-33-9029